

令和8年5月北本市定例記者会見 次第

日時 令和8年5月27日（水）
午前10時30分
場所 会議室3-E・F

1 開 会

2 説 明

- ・令和8年第2回北本市議会定例会の議案等について
- ・北本市からのお知らせ

3 質 疑

4 閉 会

○配布資料

- ・令和8年度一般会計補正予算の概要（資料1）
- ・各種情報提供資料（資料2）
- ・スライド資料
- ・令和8年第2回北本市議会定例会提出議案一式（輪ゴム止め）
- ・各種チラシ



北本市定例記者会見

令和8年5月27日（水）



令和8年第2回北本市議会定例会

招集日 令和8年6月3日（水）

議案 条例 6件

事件議決 16件

予算 1件

報告 3件

合計 26件



主な議案

- 市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について
- 令和8年度北本市一般会計補正予算（第2号）



市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定

資料2 P1

趣 旨 事務事業の不適切な処理及び職員の非違行為に対して責任を取るため、市長及び副市長の給料月額を減額するもの

内 容 市長の給料月額の減額 減額率 100分の30
副市長の給料月額の減額 減額率 100分の10

施行期日 令和8年7月1日（令和8年7月の給料に適用）



令和8年度北本市一般会計補正予算

資料1

<補正予算の規模>

一般会計補正予算（第2号） 4,026万5千円

<主な内容>

- ・クビアカツヤカミキリ対策事業補助金交付事業 300万円
- ・東小学校給食室改築事業費の増額 3,627万4千円



クビアカツヤカミキリ対策事業補助金交付事業

資料2 P2

新たな補助制度で
市のシンボル桜を守る！

内 容

<対象経費>

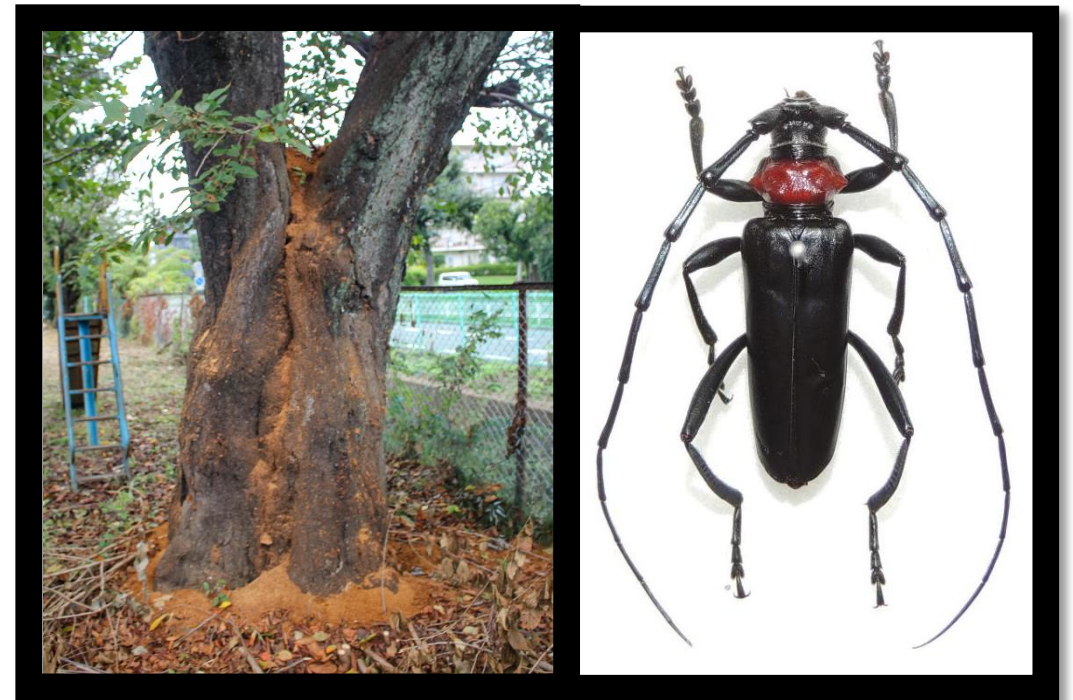
- ・薬剤注入等の薬剤防除にかかる経費
- ・被害木の伐採等にかかる経費

<補助額>

2分の1（上限5万円）

予算額

300万円





北本市からのお知らせ





指定ごみ袋の品薄に対する臨時措置

指定ごみ袋以外の袋でも出せます

期 間

6月1日（月）～6月30日（火）

対象者

指定ごみ袋が入手困難な人

代用品

- ・透明または半透明の袋
- ・20～45リットル
- ・マジック等で種類を明記





北本カレーフェスティバル2026

資料2 P4

全国のご当地カレーが北本に集結！
今年は2日間の開催

日時

6月6日(土)・7日(日) 10:00~15:00
(「推しカレーグランプリ表彰式」は、
7日(日)14:30~)

場所

北本総合公園 (北本市古市場1-167)

出店数

51店舗
(カレー店舗の他、キッチンカー等を含む)





新規事業「きたもと里山ラボ」が始動！

資料2 P5

農業体験・環境学習・地域交流を通じて“考える力”や
“生きる力”を育む再生型観光プロジェクト

年間
スケジュール

5月23日 田植え(実施済)、
6月21日 生き物調査、
7月 かかしづくり、8月 BBQ、9月 稲刈り
10月 収穫祭、2月 味噌づくり

場所

北本水辺プラザ公園脇田んぼ（北本市高尾9丁目）



県内初



公園でたき火ができます！

公園で火気使用の実証実験を実施中

日時

4月28日(火)～11月30日(月)

9:00～16:00 休園日を除く

場所

北本水辺プラザ公園
(北本市大字高尾及び大字荒井地内)

利用方法

ホームページまたは現地の看板のQRコードから申請。料金はかかりません。





パークウェディング事業の拡大

市のすべての公園で
ウェディングフォトのサポート

事業概要

- ・ 撮影構図の事前打合せや、撮影当日の現場調整などの支援
- ・ 桜の苗木をプレゼントし、公園に植樹

場 所

市のすべての公園

その他

公園利用に関する費用は掛かりません





児童生徒が命を守る力を育てる水泳授業

資料2 P8

民間インストラクターによる水辺の安全学習

対 象

市内全小・中学校の児童生徒

実施概要

水辺での危険予測など、安全に関する学習
(命を守る授業) を実施します。

事業者

- ・ スウィン北本
- ・ セントラルウェルネスクラブ24桶川北本





全国広報コンクール2部門で入選



広報きたもと
(令和7年10月号)
特集
「これが私の里山ライフ」
広報紙 市部 入選



「マンガが創るまちのミライ 北本市公共
施設マネジメント広報企画の軌跡」

広報企画 入選



& green
kitamoto city, saitama



令和 8 年度一般会計補正予算の概要

1 補正予算の規模

一般会計（2号）	40,265 千円(補正後累計)	29,066,212 千円)
----------	------------------	----------------

2 一般会計補正（第 2 号）の内容

（歳出）

○学校教育の充実

英語指導方法改善事業	100 千円
------------	--------

○環境に優しいまちづくりの推進

クビアカツヤカミキリ対策事業補助金交付事業	3,000 千円
-----------------------	----------

○その他

障害者福祉システム改修業務委託	891 千円
-----------------	--------

東小学校給食室改築事業費の増額	36,274 千円
-----------------	-----------

（歳入）

国庫支出金（障害者総合支援事業費補助金 外 1 件）	9,010 千円
----------------------------	----------

県支出金（ネイチャーポジティブ推進事業補助金 外 1 件）	△ 8,400 千円
-------------------------------	------------

繰入金（財政調整基金）	12,455 千円
-------------	-----------

市債（小学校給食室整備事業債）	27,200 千円
-----------------	-----------

（継続費）

変更 東小学校給食室改築事業	98,442 千円
----------------	-----------

（地方債）

変更 小学校給食室整備事業	27,200 千円
---------------	-----------

報道関係各位



北本市

kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 職員課
職員担当 河田

048-594-5508

a02510@city.kitamoto.lg.jp

市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定

事務事業の不適切な処理及び職員の非違行為に対して責任を取るため、市長及び副市長の給料月額を減額するものです。

1 給料月額の減額の内容

区 分	給料月額	減 額 率	減 額 後
市 長	900,000円	30/100	630,000円 (△270,000円)
副市長	760,000円	10/100	684,000円 (△76,000円)

2 施行期日

令和8年7月1日(令和8年7月の給料に適用)

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 環境課
環境政策・保全担当 佐守
048-594-5524
environment@city.kitamoto.lg.jp

桜を守ろう！ クビアカツヤカミキリ駆除補助金事業



▲被害木に対する薬剤防除のイメージ
◀市内の被害木(重度)

写真データ提供可

北本市では、桜などのバラ科樹木を脅かす特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の被害対策として、被害木への薬剤防除や伐採にかかる費用を補助する新たな補助金制度を開始します。

令和6年度から実施中の駆除用品の配布による防除活動支援に加え、この新たな補助制度を通じて、市民・事業者と共にクビアカツヤカミキリ対策を一層推進し、地域のシンボルである桜を守り続けていきます。

予算額

300万円(クビアカツヤカミキリ対策事業)

事業概要
(予定)

<対象経費>

- ・薬剤注入等の薬剤防除にかかる経費
- ・被害木の伐採等にかかる経費

<補助額>

対象経費の2分の1の額(上限5万円)

その他

令和8年6月議会にて補正予算を審議



クビアカツヤカミキリ(成虫)
提供: 埼玉県環境科学国際センター

担当者コメント



桜は北本市のシンボルであり、市民にとって誇りでもあります。この大切な資源を守り続けるには、行政、市民、事業者が一丸となり、対策を講じていくことが必要です。本事業を通じ、一人ひとりが地域の自然を守る活動に参加することで、未来の世代へ桜の美しい景観を引き継ぐことを目指します。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 環境課
資源循環担当 桐生
048-594-5553
a30200@city.kitamoto.lg.jp

指定ごみ袋の品薄に対する 臨時措置を実施します

昨今の中東情勢の影響による不安の高まりから、指定ごみ袋の購入が集中しており、現在、市内の一部の小売店等において品薄や品切れの状態となっています。

このため、臨時措置として、**指定ごみ袋以外の袋でも出せることとします。**

実施期間 6月1日(月)～30日(火)

対象者 指定ごみ袋を入手することが困難な方に限ります。

代用できる袋の規格

色・素材

透明または半透明で中身が見える袋

※黒色等の中身の見えない袋やスーパー等のレジ袋、他自治体のごみ袋は使用できません。

大きさ・容量

20リットル～45リットル

その他

袋に「可燃」「不燃」「容器」などと記入すること。

※見やすい位置に油性のマジック等で大きく書いてください。



使用できる袋のイメージ

※過度な買いだめや買い占めは控えてください

北本市の指定ごみ袋については、必要な原料を確保しており、例年と同程度の数量で販売店へ供給できることを製造業者に確認しています。

しかし、過度な買いだめ・買い占めが生じ、現在、一時的に販売店の在庫が不足し、必要とされている方に行き渡らなくなっております。

市民の皆様におかれましては、冷静な判断のもと、必要な数量の購入とごみの減量・資源化にご理解とご協力をお願いいたします。

▼詳細は
市ホームページ



報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 産業観光課
商工労政・観光担当 高野、平嶋
048-594-5530
a03100@city.kitamoto.lg.jp

北本カレーフェスティバル2026

全国のご当地カレーが北本に集結！



北本カレーフェスティバル2026を開催します。**今年度は開催日を二日間に拡大し**、6月6日・7日に北本総合公園で開催します。有名ご当地カレーや、地元を代表する北本トマトカレーなど、特色あるカレーが一堂に会し、出店者たちが自慢のカレーを提供します。

また、今年度は、来場者によるポイント制によるモバイル投票を実施し、多くのポイントを獲得したメニューにグランプリを授与する**「推しカレーグランプリ」**を実施します。

日 時

6月6日(土)・7日(日) 10:00~15:00

※「推しカレーグランプリ表彰式」は、7日(日)14:30~

場 所

北本総合公園(北本市古市場1-167)

出店数

51 店舗(カレー提供店舗の他、キッチンカー等を含む)

担当者コメント



有名ご当地カレーや地元名物の北本トマトカレーなど、個性豊かなカレーを提供することで、地域住民や観光客の交流を深め、地域ブランドをさらに強化していきたいと考えています。多くの方々に参加していただき、北本の魅力を再発見してもらえることを期待しています。



報道関係各位



北本市

kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 産業観光課
農政担当 尾崎
048-594-5532
a03110@city.kitamoto.lg.jp

新規事業「きたもと里山ラボ」始動

地域資源を残す再生型観光を取り入れたプロジェクト

県内初



昨年の稲刈り体験の様子

写真データ提供可

『きたもと里山ラボ』は、地域の自然資源や農地を活用し、**農業体験・環境学習・地域交流を通じて“考える力”や“生きる力”を育む再生型観光プロジェクト**として始動します。田植えや稲刈り、自然観察、食育イベントなど、子どもから大人まで楽しめる体験型プログラムを展開。都市近郊の立地を生かし、市内外から人を呼び込みながら、里山環境の保全や地元農産物の魅力発信、関係人口など、自然と人、人と地域をつなぐ新たな地域共創モデルとして地域環境の再生と持続可能なコミュニティづくりを目指します。

年間スケジュール

5/23 田植え(実施済)、
6/21 生き物調査、7月 かかしづくり、
8月 BBQ、9月 稲刈り、10月 収穫祭、
2月 味噌づくり

里山の裾野を広げる田植えや収穫祭などの中規模イベントの他、継続参加者同士のつながりや学びを深める少人数のBBQといった小規模の交流イベントを組み合わせた“2段階構造”で展開。広く知ってもらう入口づくりと継続的に関わるコミュニティ形成を両立し、地域に根差した持続可能な運営を目指します。

場所

北本水辺プラザ公園脇田んぼ（北本市高尾9丁目）



担当者コメント

『きたもと里山ラボ』は、農業体験にとどまらず、里山の自然と人や地域を繋ぐ取組です。自然の中で過ごす年間の取組を通して、北本の魅力や豊かさを感じてほしいです。お住いの地域に制限なくご参加いただくことで、関係人口を築いていきます。



報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 都市計画課
公園担当 穴沢・生駒
048-594-5547
a03900@city.kitamoto.lg.jp

公園で「たき火」ができます！

公園で禁止としてきた火気使用の実証実験を実施中。



実際にバーベキュー利用いただいた
公園利用者

写真データ提供可

昨年度のバーベキュー実証実験での好評を受け、北本水辺プラザ公園において改めて**火気使用を可能とする実証実験**を行ってます。

今年度の実証実験は7か月間と長期間での実施となります。

日時

4月28日(火)～11月30日(月) 9:00～16:00
(公園作業日(第2月曜日)、休園日を除く)

場所

北本水辺プラザ公園(北本市大字高尾及び大字荒井地内)

利用方法

北本市ホームページから申請
受付フォームは、現地の看板のQRコードからもアクセスできます。
料金はかかりません。
※利用上の注意などは市ホームページをご覧ください。

▼詳細はこちら



担当者コメント

北本水辺プラザ公園は、見晴らしがよく、ゆったりとした空気感が特徴です。ここで、安全にバーベキュー及びたき火をお楽しみいただくため、利用者の皆さまには火の取り扱いに十分ご注意ください、周囲の方々への配慮を徹底していただくようお願いいたします。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 都市計画課
公園担当 穴沢・生駒
048-594-5547
a03900@city.kitamoto.lg.jp

思い出を「植える」パークウェディング

～北本市の全公園で、家族の歴史が始まる撮影をサポート～



実際に前撮り・後撮り撮影を行った新郎新婦2組



写真データ提供可

北本市では、表情豊かな公園を「特別な記念の場所」として活用してもらうため、昨年度よりパークウェディング事業を試行しています。昨年度は高尾さくら公園・水辺プラザ公園で前撮り・後撮りを希望する新郎新婦2組が撮影しました。今年度は**全ての公園で季節を問わず撮影が可能**となるよう拡大し、四季を通じた撮影を受け付けます。

事業概要

職員が撮影構図の事前打合せや、撮影当日の現場調整などを支援し、公園でのウェディングフォトのサポートをします。また、ご希望の方には**桜の苗木をプレゼントし、公園に植樹**をしていただけます。

利用者の声

「桜が満開で春婚らしい写真が撮れて満足」「今回植樹した桜を、何年経っても見に来たい」
「見晴らしのいい公園で自然な写真が撮れて、思い出に残りました」
「本当にいい写真が撮れ、大変満足。公園で撮影した写真は多くの方からお褒めの言葉をいただきました」

担当者コメント

撮影前は満足していただけるお写真が撮影できるか不安でいっぱいでした。しかし、撮影後に素晴らしいお写真を拝見して安堵すると共に、公園がここまで特別なロケーションになることに改めて驚きました。ご興味がありましたら、お気軽にお問合せください。



▼詳細はこちら



報道関係各位



北本市

kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 学校教育課
指導担当 加藤
048-594-5564
a04500@city.kitamoto.lg.jp

児童生徒が命を守る力を育てる水泳授業

～民間スイミングスクール インストラクターによる水辺の安全学習～



写真データ提供可

本市では、令和3年度に県内初の試みとして水泳指導の民間委託事業を導入しています。これに加え、本取組は、“泳力向上”を目的とするだけではなく、子供たちが**水辺の危険から自ら命を守るための知識・判断力・行動力**を身に付ける水泳授業を実施します。

授業では、専門的な指導技術を有する民間スイミングスクールのインストラクターと学校教員が連携し、泳法の技術指導に加え、水辺での危険予測や、身近な物を使った浮き身体験などを実施します。

実施概要

全小・中学校の児童生徒が対象の学年ごとに実施。

日時・場所 (直近の予定)

- スウィン北本(北本市本宿1丁目1)
 - ・6月5日(金) 宮内中3年生
 - ・7月6日(月) 北本中3年生
- セントラルウェルネスクラブ24桶川北本(北本市ニツ家4丁目103-1)
 - ・6月19日(金) 東中・中丸東小全学年
 - ・7月10日(金) 石戸小全学年 ほか

担当者コメント

「泳げる」ことだけを目的とせず、民間の専門性を生かした質の高い指導と安全学習を通して、水辺での危険を予測し、自ら判断・行動できる“命を守る力”を育てる水泳授業を推進していきます。



▼詳細はこちら



報道関係各位



北本市

kitamoto city

令和8年5月27日
北本市役所 市長公室
シティプロモーション・広報担当
秋葉 048-594-5505
koho@city.kitamoto.lg.jp

全国広報コンクール2部門で入選

北本市が、関係構築や合意形成につなげる
“課題解決型広報”の取組みで全国評価



全国広報コンクールは、地方自治体の優秀な広報作品を表彰するもので、日本広報協会の主催により、1964年から開催されています。

北本市は、令和8年埼玉県広報コンクールで初めて「広報紙」「一枚写真」「組み写真」の3部門で1位に選出。この3作品に加え、広報企画作品が埼玉県代表として進んだ令和8年全国広報コンクールにおいて、「広報紙(市)」と「広報企画」の2部門で見事入選を果たしました。北本市が同コンクールで入選を果たすのは、これで通算9回となります。

いずれも紙面の企画・取材(撮影)・編集・デザインやマンガの作成は、
全て職員が自前で行っています



広報紙(市)部門入選
広報きたもと
令和7年10月号

◀入選を喜ぶ
広報きたもとR7.10月号
に登場した市民の皆さん



広報企画部門入選

マンガが創るまちのミライ
北本市公共施設マネジメント広報企画の軌跡

写真データ提供可

●広報紙(市部)部門 入選

「**広報きたもと令和7年10月号**」

埼玉県広報コンクール
広報紙部門で1位。全国
広報コンクールで他の都
道府県代表作品62点
とともに審査され、15点
が選出される入選作品に。



●広報企画部門 入選

「**マンガが創るまちのミライ 北本市公共施設マネジメント広報企画の軌跡**」

全国の市町村から
応募のあった61点
のうち、9点が選出
される入選作品に。



広報紙部門入選 広報きたもと令和7年10月号

(審査対象:各都道府県代表作品63点 入選:15点)



■保全を楽しむ“里山ライフ”特集が市民活動の広がり

都心へのアクセスが良く、豊かな里山が残る北本市。この自然が守られてきた背景には、長年保全に尽力してきた市民グループの存在があります。しかし、宅地開発等の影響で、里山自体は減少傾向に。令和7年10月号の特集「これが私の里山ライフ」では、こうした活動を単なる「自然保全」ではなく、「**里山的なライフスタイル**」という視点から取材し、その魅力を伝えることで保全の機運を作ることを目指しました。活動を通じて生まれる「**雑木林の親子の居場所**」や「**助け合う畑コミュニティ**」といった新しい価値に注目し、「**雑木林はクッション**」「**お金を介さない世界が見たい**」といった、皆さんの人生観が詰まった言葉を紹介。雑誌のようなレイアウトで、読者が「こんな暮らしがしたい」と思うような紙面に仕上げました。

発行後は、次のような反響がありました。

- ・「北本雑木林の会」さんに活動の問い合わせが増えた
 - ・畑コミュニティ「だいじょうぶだ村」さんに新たな「村人」が増えた。地域からの信頼が増え、社会福祉協議会とコラボしたコーヒーの居場所づくりが始まるなど、コミュニティが広がっている
 - ・遊休農地で自然農の田んぼ作りを行う「荒川わらの会」さんは、地権者さんからの活動への理解や信頼性が向上した
- さらに、紙面に登場したグループ間につながりが生まれ、お互いの活動について語り合う「さとやまトーク」を開催。さらなる市民とのつながりが生まれ、雑木林の地権者である「いとうふあーむ」さんは、市民とともに植樹を始めるなど、新たな里山保全活動も生まれています。



審査員講評（一部抜粋）

大きな文字のアイキャッチや写真の配置に工夫がほどこされておりすばらしい。楽しく読むことができる。都市部に住む住民は、これほど豊かな里山が残っていたことに驚くだろう。農家が支え、里山ライフを楽しむ様々な団体が活用して里山が保たれていることがよく伝わってくる。

入選を受けて、紙面に登場した皆さんから

広報紙に取り上げられたことで、地域からの信頼や人のつながりができ、問い合わせや参加する人も増えました。

読んだ人に声をかけられてモチベーションがあがり、やってきたことを紙面にまとめあげられて客観視できるようになり、同じ紙面に掲載された他の団体の皆さんともつながりができ、自然が大好きで残したいという想いを共有できました。私たちが受け継いだバトンを、次の世代につなげていきたいと思えます。



マンガが創るまちのミライ 北本市公共施設マネジメント広報企画 の軌跡(審査対象:61点 入選:9点)

■公共施設の統廃合について、マンガを使って対話を重ね、ポジティブな期待へ

北本市は、市内公共施設の老朽化が進行し、維持費が増大となることを背景に、**今後40年間で市内公共施設の延べ床面積を50%削減する「公共施設等総合管理計画」を平成28年に策定**しました。

しかし、**計画策定当初の市民認知度はわずか15%**。将来公共施設を使うであろう若い世代の関心が低いことや、全体的な削減には賛成でも、実際に特定の施設を削減する段階で反対の声が生まれることなどを考慮し、「若者」「現に施設を利用している人」をターゲットに、多くの市民の皆さんに読まれている「広報きたもと」に、公共施設マネジメントにかかるマンガを令和2年～令和7年にかけて定期的に掲載しました

親しみやすいキャラクターを用いたマンガは、広報紙に掲載するだけでなく、市民説明会等の資料にも活用し、関係市民の皆さんとの対話を重ね、**公共施設の統廃合への不安が統合施設の新たな活用といった前向きな期待に**変わっていきました。

■固いテーマも、職員手書きのマンガで わかりやすく・親しみやすく伝わるように

公共施設マネジメントの他にも、「人口減少」「消滅可能性都市」や、「総合振興計画」など、新たな行政課題や事業をテーマとしたマンガの掲載を続け、ワークショップへの参加につながるなど、マンガを用いた広報の取組みは、**継続中。広報きたもとと令和8年6月号の総合振興計画特集でも登場します!**

審査員講評(一部抜粋)

公共施設マネジメント計画の市民の認知度が低いという課題に対して、職員作成のマンガを活用して、親しみやすく分かりやすく説明を行うという企画である。難しいテーマの場合、特に若い世代に対して有効だ。広報紙を「お知らせ」する媒体にとどめず、「課題解決」のためのツールとして位置づけていることは画期的であり、興味深い重要な取り組みだ。

アンケートデータを読む際に表面的な解釈にとどめず、「自分ごと」として捉えた上での回答かについて深掘りすることで、何が真の課題なのかを明らかにしている。市民との対話を重ねて合意形成(「総論賛成・各論反対」の壁を突破)した点が素晴らしい。これまでのシティプロモーションで培ってきた市民との信頼関係が功を奏したのではなかろうか。



1 企画の背景

■計画を進めていくうえでの課題

- 計画の認知度 **15%**
- 若い世代(将来使うであろう世代)からの回答が少ない → 関心が低い

※北本市の公共施設に関する市民アンケート(2018年)

「計画の認知度は15%知っていたが、なんとも思っていない人が多く、関心がないという状況!」

「10代の回答率は8.3%こんなに少ないんだ!」

■第1回マンガ特集
「公共施設の今とミライ」
令和2年6月号(表紙含め全8P)

- 今後40年間で公共施設の延べ床面積を50%削減するという目標を掲げている北本市公共施設等総合管理計画と、その計画を推進するための策定する公共施設マネジメント実施計画について伝える。初のマンガ特集号。
- 老朽化、人口減少、維持管理の限界など、まちの公共施設が抱える課題から、後合・集約化による先導策まで、視座を一歩、巨大ロボ「ニス」をイメージして作成。
- 表紙からは「広報らしさ」を全面排除し、手に取ってもらう工夫を。
- 動画を同時作成。YouTubeでも公開。

YouTube 公共施設の今とミライ

【ストーリー】
ここは北本市を守る特設部隊「green」。老朽化により公衆館のエアコンが壊れた一層が入るもそこには予算の壁が…。突然湧き出るアラーム。
館中の施設に響く振動。『財務リスク』が現れたのだ。対峙に苦慮する中、市民は市を守るための公共施設を守るの術を学ぶという柱となる計画の実行を指示する。
公共施設の合併(複合化)による巨大ロボ「マネジメント」が出現。いったんは財務リスクを食い出すことに成功するも40年という計画を確実に進めていくことが必要であり、市民の協力が不可欠だと訴えかける。

全国広報コンクールでの北本市の受賞歴

【広報紙】

- ・広報きたもと平成28年11月号
「財政状況伝えるマン」 **H29入選**
- ・広報きたもと令和4年9月号「ここがわたしの居るところ」 **R5内閣総理大臣賞**
- ・広報きたもと令和5年10月号
「このまちに暮らす、わたしたち」 **R6入選**
- ・**広報きたもと令和7年10月号**
「これが私の里山ライフ」 **R8入選**



通算9回の全国入選

(うち2回は最高賞である内閣総理大臣賞)

【広報企画】

- ・広報きたもと平成28年11月号
「財政状況伝えるマン」**H29入選**
※広報紙部門とW入選
- ・「北本トマトカレー～創られたB級グルメが、自立し、市への愛着・誇りを育む～」**R2入選**
- ・「&green-3つの意欲を高める北本市シティプロモーション」 **R3入選**
- ・「北本市の暮らしの魅力が自動で拡散！『屋外の仮設マーケット』がシティプロモーションの鍵に！『マーケットの学校』と『&green market』」 **R4内閣総理大臣賞**
- ・「まちへの参加を創る・発信する 北本団地商店街活性化プロジェクト」 **R5入選**
- ・「マンガが創るまちのミライ 北本市公共施設マネジメント広報企画の軌跡」**R8入選**



担当者コメント



里山を、従来の自治体広報で語られがちな「自然保護」の視点ではなく、「豊かに暮らすライフスタイル」として描いたことが本特集の一番大きな特徴です。実際に、紙面に登場した市民の皆さんに「あなたの暮らしがうらやましい」との反響があったり、広報きたもとアンケートでも里山に興味を持ったとの声がありました。市としても、今年度は里山の再生型観光プロジェクト「里山ラボ」を開始するなど、里山を過去の遺産ではなく、これからの暮らしを豊かにする地域資源として、保全に取り組んでいきます。

本企画は、今後40年間で公共施設の延床面積を50%削減するという公共施設マネジメント計画の「認知度15%」という課題に対し、職員が企画、作画した広報マンガを活用し挑んだ軌跡です。固いイメージの計画を親しみやすいストーリーにし、市民の「総論賛成・各論反対」の壁を突破。市全体計画から個別計画策定及び新施設の建設までの5年間を通したマンガ広報により、市民との対話を重ね、自分事化を図ってきました。

「え！部長がマンガ描くんですか！？」「マンガ見ましたよ！続きも気になります！」
そう言った声もお聞きするようになって本当に続けてよかったと感じています。
今後もチナツさんや元気くんをはじめとするキャラの活躍を期待しててください。

